

出題分析		
試験時間 90分	配点 150点	大問数 4題
分量 (昨年比較) [減少] 同程度 増加]	難易度変化 (昨年比較) [易化] 同程度 難化]	
<p>【概評】</p> <p>大問4題の構成は昨年までと変わらないが、これまで定番であった大問ごとの語群がなくなって小問ごとに選択肢が配される形式に変わり、リード文・史料中の空欄も大幅に減った。設問数はマーク式の設問個数40個、論述問題2題で昨年と同じであるが、論述の総字数は400字であり、昨年から80字減少した。現代史や歴史総合分野からの出題は、ほとんど見られなかった。</p> <p>マーク式の設問には、慶應義塾大学法学部らしい難解なものも含まれたが、特に語句選択問題では選びやすい設問も目立った。論述問題は、史料などの読み取りや思考力を要する点では昨年と変わらないものの、テーマ設定に昨年ほどの難解さはなかった。難問が目立った昨年と比較すれば、易化したと言えるだろう。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	平安時代の政治史と怨霊	平安時代の政治・文化が問われた。設問5. 消去法で1・5までは絞りこめるだろう。設問6. 5の小野岑守は細かいが、2023年の慶應義塾大学法学部の正誤判定問題でも出題された。設問9. 空欄後の「諸院諸宮」と並立しうる性格の田地を考えるとよい。設問12. 1の小野好古はやや細かいが、難関私大では出題され、2016年の慶應義塾大学法学部の空欄補充でも出題された。設問13. 藤原秀郷が、4にある「俵藤太」とも呼ばれたことを知っていたかどうか。1は藤原秀衡、2は藤原基衡、3は藤原清衡、5は藤原泰衡という、いずれも奥州藤原氏の人物の説明である。なお、奥州藤原氏は藤原秀郷の子孫とされる。	標準

設問別講評			
II	感染症の歴史	近代の社会・文化などが問われた。設問 1. 5 のマalariaは受験知識というより一般教養か。設問 3. 難。学習の進んだ者ほど 2 の後藤新平を選んだだろう。設問 4. 難。適塾出身者として佐野常民を押さえていたかどうか。設問 5. 難。2 のタカジアスターゼは、高峰讓吉が発明した消化酵素剤（胃薬）。設問 7. スペイン風邪は歴史総合の一部の教科書で扱われているが、コロナ禍以降の一般教養ともいうべきか。設問 8. 1877 年のコレラ流行についての論述問題。「対策の狙い」はリード文がヒントとなり、同年の「国内情勢」も西南戦争であることは想像できるだろうが、指定字数の 200 字はやや長く、肉付けがしにくい。	難
III	刀狩令・旧里帰農令 (史料)	近世の政治・経済・文化などが問われた。設問 1. 織豊政権期は、年代整序問題への対策が重要である。設問 4・5. 近世初期の重要人物の航路は教科書に掲載されている。設問 11. 難。3 の「商業蔑視の風潮を批判」「営利追求の正当性」という説明は石田梅岩を想起させ、受験生を惑わせる。設問 12. b の大津浜の事件が異国船打払令発布の背景の一つであること、d の天保の薪水給与令が、アヘン戦争の最中に出されたことなどが判断のポイントになるだろう。設問 13. 3 の開成館は知らないだろうが、坂本龍馬は脱藩しているため、土佐藩で登用はされておらず誤りと判断したい。	標準
IV	若槻礼次郎の回顧録 (史料)	近代の政治・外交が問われた。設問 2. 1・2 で迷うが、1 はタフトが当時大統領でなく陸軍長官のため誤り。設問 3. 1・3 が細かいため迷うが、3 は教科書に記載がある。設問 8. 1905～12 年と 1942～45 年に政府提出法案の成立率が高かった理由についての論述問題。「大日本帝国憲法における帝国議会の権限」という条件には身構えるが、法案成立には議会両院での協賛が必要である点を書けばよいだろう。それぞれの理由も、史料を参考にすれば方向性は比較の見定めやすい。	標準

合格のための学習法

慶應義塾大学法学部の日本史は、空欄補充問題や正誤判定問題などの選択問題が出題される一方で、昨年は200字と280字の論述問題が1題ずつ、また今年は200字の論述問題が2題出題された。空欄補充問題は、選択肢を吟味すれば正解を見つけ出せることもある。正誤判定問題は、標準的なものは確実に正解し、教科書の学習範囲で対応できない難しいものは消去法で答えを絞りたい。まずは教科書を熟読して、基本事項を単に暗記するのではなく、理解することが重要である。また、発展的な問題は、過去問で出題された用語を調べて用語集の説明までしっかりと読み込んでおくことで対応できる問題もあるので、早期の過去問研究を勧めたい。論述問題については、同じ慶應義塾大学の経済学部や文学部、もしくは国立大学の過去問を用いるなどして思考力を要する論述に慣れておくほか、史料の読み取りも重要なポイントとなるので史料対策にも取り組みたい。